地球環境に配慮した毛利研究室ゼミテンプレート

立命 太郎

概要:近年,地球の環境破壊が問題となっている.限りある資源を有効に活用するため,ペーパレスを推進する企業も増え始めている.我が毛利研究室でも,ゼミ資料の紙の使用量を抑制する動きが見られている.そこで,表紙を無くした新たなゼミテンプレートの作成を行った.本稿では,新しいゼミテンプレートと付録として添付した Makefile の使用法について述べる.

1. はじめに

本稿では、テンプレートのディレクトリ構成と Makefile の概要や画像の挿入方法、参考文献の書き方について述べる、資料をチェックしてもらうときは、本ファイル 8 行目の\setstretch{1.5} のコメントを外すとチェックする側はありがたいです、LaTex のコンパイル時にエラーが出るor 文字化けする場合は、文字コードが原因の可能性が高いです、テンプレートは UTF-8 にしていますが、各自環境に合わせて設定して下さい。

2. ディレクトリ構成

ゼミテンプレートの構成は,以下に示す. 画像は,fig フォルダへ入れる. 本文は semi.tex に記述,参考文献は references.bib にそれぞれ記述する.

Makefile	% Makefile
eco.cls	% texのフォーマット
fig/	% 画像保存用
ex1.eps	% サンプル画像
$\exp 2. pdf$	% サンプル画像
ipsjunsrt.bst	% 参考文献のスタイル
jlisting.sty	% ソースコード添付用
mediabb.sty	% pdf 变換用
references.bib	% 参考文献
semi.pdf	% 本文のPDF
semi.tex	% 本文

3. Makefile の概要

make help コマンドで使用方法が書いてあるので参考に. PDF にを作成するには, make pdf とすると作成できる. 直接 PDF を表示するには, make view とすると Adobe Reader で開いてくれる.

BibTeX でエラーが出た人は, Makefile の 57 行目の

BIBTEX := pbibtex

の部分を pbibtex から jbibtex に変更してみて下さい.また, references.bib のファイルが存在しなければ, BibTeX は実行されません.なので, BibTeX を使いたくない人は, references.bib を削除する(そんな人は卒論で苦労するよ).

文字コードを変更する場合は, make nkf-euc, make nkf-sjis, make nkf-utf8 コマンドでそれぞれ変更できます.

LaTeX, BibTeX での log を最後にまとめて表示するには, Makefile の 45 行目の

JOIN-LOGS := no

を yes にして下さい.このオプションを利用するには ruby が必要です.

4. 参考文献の書き方

参考文献は、BibTeX を使う.たとえば、図1の内容を含むファイル (references.bib) を作り、\cite{etx}の様に本文で参照 [1] し、pbibtex コマンドで参考文献リストを作成します.論文データベースには、必ず bibtex 形式というのが用意されているはず、その内容をコピーすれば基本は大丈夫なはず(必ずチェックする).参考文献のスタイルは、情報処理学会の出現順のものを使用しています.

5. 図の挿入方法

5.1 Tgif や OpenOffice で作る場合

Tgif や OpenOffice で作る場合は, eps で出力して, includegraphics で挿入しましょう(例:図2).

5.2 PowerPoint で作る場合

複雑な図を作るときは,Microsoft PowerPoint や Visioがおすすめ.図を PDF でエクスポートし,それを TeX で表示できます(例: 図 3).PDF を作成時にフォントが埋め込まれているかを確認する.場合によっては,図のフォントが文字化けすることがあるので注意.

@INPROCEEDINGS $\{ etx ,$

```
author = {Douglas S. J. De Couto and Daniel Aguayo and John C. Bicket and Robert Morris}, title = {A high-throughput path metric for multi-hop wireless routing}, booktitle = {Proc. of ACM MobiCom '03}, year = \{2003\}, pages = \{134-146\}
```

図 1 BibTeX の記述例

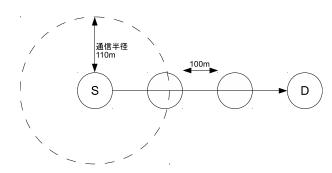


図 2 Open Office で作成した図

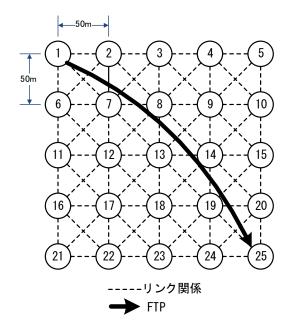


図 3 PowerPoint で作成した図

参考文献

[1] Couto, D. S. J. D., Aguayo, D., Bicket, J. C. and Morris, R.: A high-throughput path metric for multi-hop wireless routing, *Proc. of ACM MobiCom '03*, pp. 134–146 (2003).